



栄光の未来

R6.6.3 発行

第8号

25.6kmへの挑戦 完歩大会頑張った！

5月24日（金）に実施した完歩大会では、ほとんどの生徒が25.6kmの全行程を完歩することができました。また、そうでなかった生徒も、自分の頑張れるところまで一生懸命歩いており、それも素晴らしいことだと感じました。

自分には、完歩大会に対して特別な思いがあります。現在、市内のいくつもの中学校で完歩大会が実施されていますが、新潟市で初めて学校行事としての完歩大会が行われたのは、今から46年前の昭和52年でした。自分の通っていた中学校で、入学した年である中学1年生のときに行われた行事です。つまり、自分は市内で最初の完歩大会を経験した中学生だったのです。

完歩大会は決して楽な行事ではなく、肉体的・精神的にタフさが求められる行事です。また、運営面でも、多くのボランティアスタッフが必要であり、準備の大変な行事です。生徒にかかる負荷や準備・運営の労力などから、完歩大会を取りやめる学校も出てきています。しかし、生徒の「たくましさ」の成長にとっても、また、地域との連携・協働という点からも、安易に廃止するのではなく、工夫・改善を図りながら継続すべき行事である、その価値が大いにあると思っています。

多くの生徒の皆さんが楽しみにしていた完歩大会が、保護者・地域の皆様のご協力のもと、皆さん一人一人の頑張りや互いに励まし合う協力の姿勢によって、素晴らしい行事となりました。「生徒の手による学校づくり」が一つ成し遂げられましたね。



もうすぐお昼。まだまだ余裕の表情！ボランティアの方と一緒に歩きました！



先頭集団はとにかく元気！さすがです！

クラブ保護者会代表者会議を開催しました

「部活動の地域移行」先行実施に向けて、5月30日（木）に各クラブ保護者会の代表者による会議を行いました。

現在活動している生徒を含め、活動を希望する生徒を誰一人取りこぼさないための仕組みとして、昨年8月に「クラブ保護者会による運営」をお願いしました。それから10か月、本格的に動き出す時期が迫ってきたこともあり、参加された保護者の方々の本気度を強く感じました。新たな取組であるため、分からないことや不安なこと、困ったことなどが多くありますが、それらを出し合いながら共に考え、準備につなげるいい機会となりました。



予定を30分以上オーバーしても、なお質疑や話し合いが続くほどの会議でした！

部活動の地域移行については、市の描く完成形が形となっていて見えてくるころまでには至っていません。「待ち」や「受け身」の姿勢ではなく、地域の子どものために学校や保護者・地域が自分たちで絵を描き、その実現に向けて動くことこそが、地域の子どもたちにとって最も望ましい未来をつくることができると信じて、この動きを主導しています。